

授業でも！

つかえる

ちゃぐりん

VOL.50



◇記事名：6月号 p10～18 「ぎゅ、ぎゅうとわかる！ 乳牛&牛乳」

◇対象：社会科、学級活動、道徳(1～6年生)

文・藤本勇二 (武庫川女子大学 専任講師)

牛乳は、学校給食に毎日登場するので、子どもたちにとっては身近な存在です。しかも、牛乳をもとに乳牛という生産の場への理解や、豊富なカルシウムを通して栄養・健康の内容を学ぶことができます。また、牛乳には命の存在を実感させてくれる内容があります。このように、牛乳は、子どもたちがよりよく学ぶための優れた教材となります。

1. 牛乳が届くまで (3～4年生、社会科)

3～4年生の社会科では、地域の人々の生産や販売について調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えることを学びます。そこで、地域の人々の生産に関する仕事として酪農を取り上げます。授業では、私たちが学校や家庭で牛乳を飲むとき、牧場から学校や家までの間に一体どんな人たちが働いているかを考えます。子どもたちからは、「牛を飼っている人」「牛乳を運ぶ人」という意見が出ますが、牛乳工場の人には気が付きません。そこで、ちゃぐりんの「牛乳がみんなに届くまで」を使って、②「工場へ運ぶ」から⑧「出荷前検査をする」までの仕事を取り上げて、牛乳工場働く人の努力に目を向けさせます。

さらに、酪農家やトラックの運転手など、私たちの手元に牛乳が届くまでにかかわっている人の工夫や苦労について話し合うことも大切な学習となります。

また、おいしくて安全な牛乳が消費者の食卓に届くまで、その品質管理には細心の注意が払われています。どのようなことが行われているか調べてみることもいいでしょう。



2. 給食にはなぜ毎日牛乳が出てくる (1～6年生、学級活動)

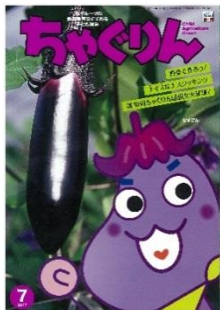
学校給食に毎日登場する牛乳には、成長期の子どもたちに必要な栄養がたくさん入っています。特に、カルシウムについて授業で取り上げるといいでしょう。健康な体をつくるには牛乳を飲むことが大切であることを知り、進んで牛乳を飲もうとする気持ちをもつことをめざし学活の時間に牛乳を取り上げましょう。

授業は、カルシウムの大切さ(カルシウムの働き、カルシウムを多く含む食品、1食分で必要なカルシウム摂取量など)を学んだ後に、牛乳に含まれるカルシウム量を取り上げるようにするといいでしょう。この学習をきっかけに、自分の食生活を見直し、よりよい食習慣を形成しようとする態度を身に付けることもできます。栄養士の先生にお話してもらおうと効果的です。

3. 牛乳は命をいただいている (3～6年生、道徳)

子どもたちは、牧場にいる牛ならどんな牛でもお乳がでると思っています。しかし、乳牛はどんな牛でも生乳が出るわけではありません。人間と同じように妊娠して、子牛を産んで、はじめてお乳が出ます。つまりお乳を出してくれるのは、子どもを産んだ後の雌牛だけなのです。私たちが飲んでいる牛乳は、母牛が子牛にあげる大切なお乳をいただいていることを考えると、命について学ぶことができます。

また、牛乳の味は季節や気温で味が変わります。食品で、こうしたものはありません。また、乳牛の種類やえさでも味が変わることから、命あるものが命あるものを作り出していることに気付くことができます。



JAグループの食農教育を
すすめる子ども雑誌

ちゃぐりん

Child Agriculture Green

子どもたちに伝えたい!

2017年7月号

おすすめ記事

ナイスなナスクッキング



掲載ページ: p10~13

ナスが苦手という子どもたちに共通している、苦手なところは、一つめは「グニュッとした食感」、2つめが「加熱したときに果肉が黒っぽくなること」なのだそう。この苦手部分を解消する、とっておきの秘策を紹介。苦手を克服して、どんどんナスを食べましょう。また、ナスにまつわる豆知識もあわせて掲載します。

ねばねば野菜を食べねば~!



掲載ページ: p14~17P

オクラ、モロヘイヤ、ナガイモに共通しているのは「ねばねば」。この、ねばねばした性質を持つ3種類の野菜について、それぞれに違う、ねばねばパワーについて、ねばりのひみつや、栄養成分などについて解説します。また、これらの野菜のねばねばをより引き出すための調理法と、夏の暑さに負けない、パワーアップレシピも紹介します。

見て!見て!わたしのうちの仕事



掲載ページ: p26~28

野菜を栽培したり家畜を育てたりしている農家の『ちゃぐりん』読者を訪ねる連載企画です。今月号は、埼玉県本庄市で大きなハウスでキュウリを栽培している家族取材しました。ハウス内には黄色い札や根元のホースなど、さまざまな工夫が見られます。読者の小学生も枝つみや葉かきを手伝いました。

スッキリ解決! みんなのギモン



掲載ページ: p32~33

身のまわりのフシギなことやわからないことを「フシギ君」と「ギモンちゃん」が「スッキリ博士」とともに解決する人気企画。今回のギモンは「なぜ水は土にしみこむの?」です。水がしみこみやすい土とそうではない土との違いや、なぜ畑の土が植物が育つのに適しているのかなど、イラストも交えて解説します。

8月号予告 「とっともトマトクッキング」 夏に旬を迎える、トマトのうまみ成分たっぷりのレシピを紹介します!

JAグループ (一社) 家の光協会